



◆かがみ野俳句会◆

梅雨じめる母の白髪剪りそろへ  
 橋下におわす大師や苔の花  
 更衣少女の背丈伸びしかな  
 船上の灯を消して螢待つ  
 つゆ結ぶ四葩の藍を透しつつ  
 水音のしづかに明けて濃あぢさゐ  
 梅雨の空道行く人の足早め  
 昼顔や波の暮れゆく熔岩千畳  
 四月馬鹿香長平野が動きだす  
 紫蘇揉んで生命線を浮きたたす

佐竹 洋子  
 鍵山 和枝  
 佐藤 幸  
 利根 弘子  
 古川 信子  
 小松 愛子  
 西内 保衛  
 中澤 美晴  
 森本 健代  
 吉田 芳

◆かほく句会◆

六月や土佐は木の国水の国  
 農の句を詠める才女や花菖蒲  
 菜箸の先を焦がして梅雨に入る  
 日も時も己も忘れ袋掛け  
 永き日を怠りがちに鎌使ふ  
 蛭川近くに住みて見にゆかず  
 母の日や受話器に弾む母の声  
 消息の知りたき人や花卯木  
 代田澄む心の浮かぬ日もありて  
 玉葱を吊るして雨の音高し

乾 真紀子  
 奥宮さとみ  
 久保 貴女  
 久保内鏡子  
 黒岩千英子  
 小松 隆之  
 杉山 春萌  
 西本 昶猪  
 前田 欣一  
 前田 秀女

◆葦 句 会◆

農に老い足腰疼く生身魂  
 再会を約す車窓の夏帽子  
 少女らのいざなぎ神楽合歓の花  
 山賊のごと山蟻の足早し  
 百歳を生きる体操立葵  
 ダムの鳶浮上楽しむ青嵐  
 岩若葉湧き立つ中へ瀧落つる  
 塩の道峠にいでて青嵐  
 粗草を躲し咲きぬる烏瓜  
 梔子の花に下校の雨の道  
 桑の実の大樹モンマルトルの丘

間崎 和代  
 山崎かずみ  
 山中 晶子  
 山中 明石  
 山中 瑞輝  
 吉村 幹愛  
 高橋富士美  
 岡本かほる  
 高橋 章  
 北村 幸子  
 西川 常夫  
 甲藤 卓雄  
 野崎 典子  
 北村 里子  
 明石 英子  
 竹内 る草

◆土佐山田町俳句会◆

荒梅雨や納屋の中にも出来ること  
 ワールド杯たとへば夏の嵐かな  
 子つばめや石工の眼鏡太かりし  
 ほうたるに出逢うた夜の深睡り  
 アルバムに見知らぬ男花棟  
 草踏みしめ釣師下りゆく蝮谷  
 灯の生家帰郷はいつも麦秋に

明石 菲生  
 前田 隆明  
 大石 邦男  
 前田美智子  
 安丸 槇子  
 田村 一翠  
 榎谷 雅道

◆投 稿 作 品◆

広報委員会 選

紫陽花を映して流る小川かな  
 朝掘りの筈としてよるこばれ  
 糸の罫の弾む刹那を蜘蛛走る  
 ゴンドラの唄の響かふ梅雨晴間  
 青葉風木の葉さらさら身を憩う  
 うしろより来ては越えゆく夕燕  
 五月晴れ朝日に映える新芽かな  
 往還を朝獲れ鰻へ爺いそぐ  
 さみだれの我が生れ月メール来る  
 トラクター居座る捨て田青田風  
 豊作の枇杷の実摘みて種子大き

三谷 誠郎  
 和田 可代  
 千頭のぐさ  
 山崎 貴子  
 高野 和一  
 北村千鶴子  
 岡村 和躬  
 福留ともり  
 前田 小夜  
 岡本 朴舟  
 小野寺朱実

俳句・短歌の募集について

広報「香美」で掲載する、一般の方の俳句・短歌の作品を次のとおり募集しています。

【投稿方法】

投稿方法は自由。(ただし、官製ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで5句(首)以内まで)  
 かい書で、住所、氏名、電話番号を明記してください。

誌面の都合により掲載されない場合があります。

【投稿先】

企画課内広報委員会事務局  
 〒782-8501 香美市土佐山田町室町1-2-1  
 ☎ 53-3114 FAX 53-5958